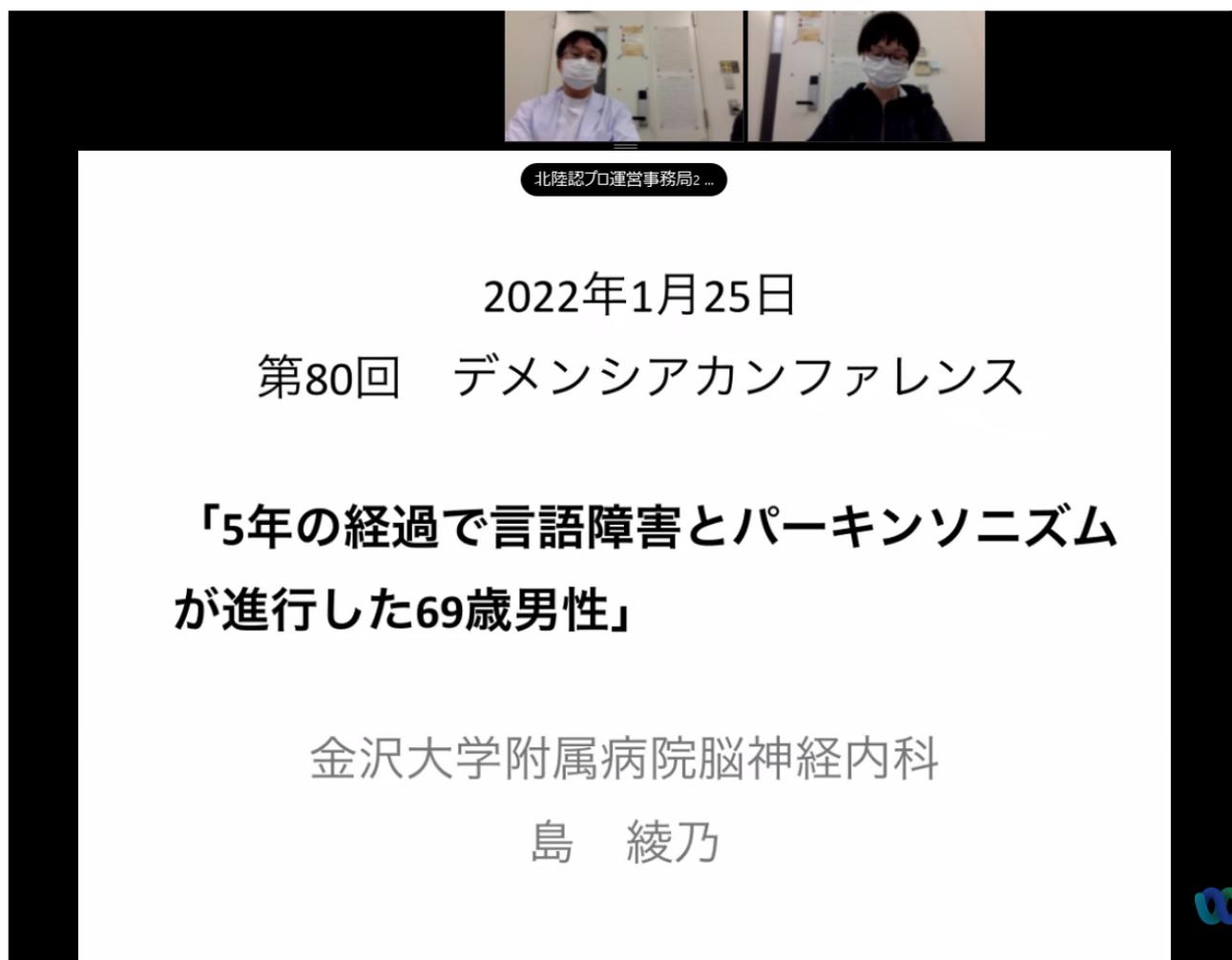


## 第80回デメンシアカンファレンスを開催

2022年1月25日

1月25日（火）に金沢大学が担当する北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン（認プロ）「第80回デメンシアカンファレンス」をWeb上で開催しました。

「5年の経過で言語障害とパーキンソニズムが進行した69歳男性」のタイトルで、金沢大学からの症例報告が進められ、活発に質疑応答や意見交換が行われました。



北陸認プロ運営事務局2 ...

2022年1月25日

第80回 デメンシアカンファレンス

**「5年の経過で言語障害とパーキンソニズム  
が進行した69歳男性」**

金沢大学附属病院脳神経内科

島 綾乃

## 第80回デメンシアカンファレンス報告要旨

### 「5年の経過で言語障害とパーキンソニズムが進行した69歳男性」

発表者：島 綾乃（金沢大学附属病院脳神経内科）

司 会：野崎 一朗（金沢大学附属病院脳神経内科）

#### 【要旨】

症例は家族歴のない69歳男性。2016年に会話速度が遅い、思ったことが言葉に出にくい、書字の際字が出てこないといった症状が出現、進行したため、2017年に脳神経内科を受診した。引っ掛かりがある速度の低下した発語がみられ、軽度の発語失行が疑われた。また、カタカナと文章の書き取り障害が認められた。HDS-R 21/30点、MMSE 27/30点で、WAIS-IIIでは処理速度の低下が、WMS-Rでは軽度の注意集中力低下が認められた。頭部MRIでは、両側前頭葉に軽度の萎縮を認めた。脳血流ECD-SPECTでは左中心前回の血流低下の所見が認められた。軽度の発語失行や書き取り障害は左中心前回の障害による影響が疑われた。

言葉の出にくさ、書字のしにくさは緩徐に増悪し、手の使いにくさも出現したため、2019年に2度目の評価が行われた。神経学的診察では、仮面様顔貌や右上肢筋強剛といったパーキンソニズムが見られた。また、発語失行の増悪、呼称障害、語性・音韻性錯語、3語文以上での復唱障害、左右失認、身体部位失認が認められた。WAIS-IIIやWMS-Rでは高次脳機能の全般的な著しい低下が見られ、FABでは前頭葉機能の低下が認められた。SLTAでは、文の復唱や書き取りの障害を主体とした高度な言語機能障害が認められた。頭部MRIでは、左優位に両側の前頭頭頂側頭葉の萎縮が認められた。PIB-PETでは大脳皮質へのアミロイド沈着は認められなかった。FDG-PETでは左優位両側の前頭葉広域と、上頭頂小葉や角回、縁上回を含む両側頭頂葉の代謝の低下が認められた。原発性進行性失語症の診断基準を満たし、そのサブタイプである進行性非流暢性失語症とLogopenic型進行性失語症の両方の診断基準を満たしていた。

その後も言語や運動の障害は進行し、2021年には発語不能、自力での歩行不能、嚥下困難な状態となり、3回目の評価を行った。神経学的診察では、発語不能な状態、無動、右優位の四肢の高度筋強剛、両側の病的反射陽性(Babinski反射、Chaddock反射)を認めた。頭部MRIでは、大脳の萎縮の増悪を認めた。ドパミントランスポーターシンチグラフィでは、両側線条体の著しい集積低下を認めた。

進行性非流暢性失語症の背景病理としてタウオパチー [Pick病、大脳皮質基底核変性症(CBD)、進行性格上性麻痺] やTDP-43プロテノパチー、アミロイドβ病理が報告されている。Logopenic型進行性失語症の背景病理としては、主にアミロイドβ病理が、その他として種々のタウオパチーやTDP-43プロテノパチーが報告されている。本例はPIB-PETの結果からアルツハイマー病は否定的であり、CBDをはじめとしたタウオパチーやTDP-43プロテノパチーが鑑別として考えられた。進行性非流暢性失語症では有意半球の下前頭回を含む前頭葉広域の代謝が低下することが、Logopenic型進行性失語症では有意半球の頭頂側頭葉移行部から側頭葉や前頭前野・運動野の代謝が低下することが報告されている。本例は、有意半球の中心前回の代謝低下から始まり、徐々に有意半球の前頭葉、頭頂葉に拡大したことで、発語失行や書き取り障害で発症し、経過で進行性非流暢性失語症とLogopenic型進行性失語症の両方の症候を呈したと考えられた。



北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン(認プロ)

# 第80回デメンシアカンファレンス(Web)

2022年1月25日(火)18:30~

## 「5年の経過で言語障害と パーキンソニズムが進行した69歳男性」

発表者:金沢大学附属病院脳神経内科 島 綾乃  
担当:金沢大学  
対象:認プロ参加施設及びその他の施設の  
医療関係者(医療系大学の学生含む)

### 【参加方法】

#### ● 個人のパソコンからWeb会議システム(Webex)を使用

- ・教育コース履修者、メディカルスタッフe-learning講座の登録者、認プロ参加施設の各委員・事務担当者には、事前に北陸認プロ運営事務局からメールで参加案内をお送りします。案内状のメールに従って会議にご参加下さい。
- ・教育コース履修者の出席はオンライン画面にて北陸認プロ運営事務局が確認します。
- ・上記以外で参加を希望される方は 1月24日までに氏名とメールアドレスを北陸認プロ運営事務局までお知らせください。

([ninpro@adm.kanazawa-u.ac.jp](mailto:ninpro@adm.kanazawa-u.ac.jp))

#### 【お問い合わせ先】

北陸認プロ運営事務局 〒920-8640 金沢市宝町13番1号

TEL:076-265-2149 FAX:076-234-4208 E-mail:[ninpro@adm.kanazawa-u.ac.jp](mailto:ninpro@adm.kanazawa-u.ac.jp) URL:<http://ninpro.jp/>